

ISO/IEC 27001:2013 情報セキュリティマネジメントシステムの基本方針

株式会社 福島電子計算センター ISMS基本方針

当社は経営理念に基づき、高度情報化社会における情報システムの安全性、及び信頼性の確保に万全を期すとともに、情報資産に関する保護の重要性に鑑み、当社の処理代行業業及びシステム開発販売等の事業発展にあたってはその情報資産を適正に管理するように努めます。

また、情報資産保護に関する社会全般の意識を啓蒙するとともに、社会と顧客の信頼に応えなければなりません。情報セキュリティマネジメントシステムの作成にあたって、当社のISMS基本方針を以下に宣言します。

1. 当社の資産を調査・評価し当社の活動、製品及びサービスより、管理方法を確立します。
2. 当社の管理業務において、当社の活動、製品及びサービスを、ハッカー、ウイルスなどの外部侵略及び内部からの流出などの、過失、事故、災害、犯罪などの全ての脅威から適切に保護します。
3. 当社は情報資産保護にあたり、「番号利用法」、「著作権法」、「改正個人情報保護法」などの関連法令及び特定個人情報の適正な取扱い、情報サービス産業個人情報保護ガイドラインを遵守します。
4. 顧客と取り交わした情報セキュリティ契約を遵守します。
5. 当社規定によりリスクアセスメント手法を定め、社会環境の変化に合わせたリスクマネジメントを確立し、実行し、維持し、継続的に改善します。
6. 社員には業務に必要な教育・訓練を行い、情報セキュリティ上の経験を共有し、情報セキュリティ意識を高く持ち模範的行動がとれる人材に育成します。
7. 当社の情報セキュリティシステムの目標として、以下の2つについては重点的に、確立・実行・維持・改善を推進し、最終改定日より2018年3月31日までの目標とします。
 - (1) 人材教育（情報セキュリティ教育を推進し、人的育成に努めます）。
 - (2) 情報セキュリティインシデントの発生 0件 を目指します。
電子犯罪から資産を保護しつつ、当社内部の過失・犯罪により資産流出を防止します。

8. 社員心得

適用対象：正社員

適用場所：弊社内、客先

「あいさつ」

入室、退室時のあいさつははっきりとする
業務上の不明、疑問は担当上司に確認する
意思表示はハッキリとする

「身だしなみ」

お互いに不快な思いをさせない服装をする
パソコンや機器等の操作のしやすい
服装及び髪型をする

「情報漏洩」

仕事に必要なものは持ち込まない
個人のスマホ、携帯電話等はマナーモードで使用する
個人のスマホ、USBメモリー等記録メディアはパソコンに接続しない
個人情報の記載のある用紙等は持ち出さない
業務で知り得た情報等は、口外、情報化しない

適用対象：パート社員、契約社員

適用場所：弊社作業エリア、客先の作業エリア

「あいさつ及び報告」

入室、退室時のあいさつははっきりとする
業務上の不明、疑問は担当上司に確認する
意思表示はハッキリとする
作業の進行状況の報告を1日1回必ず行う

「身だしなみ」

お客様に不快な思いをさせない服装をする
書類に対しての作業のしやすい服装をする
パソコンや機器等の操作のしやすい
服装及び髪型をする

「情報漏洩」

作業に必要なものは持ち込まない
個人のスマホ、携帯電話等はロッカー等で保管する
個人のスマホ、USBメモリー等記録メディアは持ち込まない
作業で使用した用紙等は持ち出さない
作業で知り得た情報等は、口外、情報化しない

9. 当社社員は情報セキュリティマネジメントシステムを熟知し遵守しなければならない。
規定に違反した行為を行った場合は社内就業規則により罰則を適用します。

株式会社福島電子計算センター
代表取締役社長 中澤堅次



制定日：2011年9月1日

なお、弊社の情報セキュリティ及び個人情報保護に関するお問い合わせにつきましては、下記弊社窓口で対応させていただきます。

<<情報セキュリティ及び個人情報保護に関するお問合せ窓口>>
株式会社福島電子計算センター TEL 024-535-1065
システム開発部部長 土屋直樹 FAX 024-535-1066

最終改定日：2017年4月14日